

■ 共通教育科目群

10000 通信教育入門 [2 単位] テキスト履修

正科生にとっては卒業必修科目なので、すべての科目に先立って、最初に学習する。通信教育がどのようなものであるか、その学習の方法とレポート作成の実際について、基本的な知識と理解を得るためである。

10001 日本語表現 [2 単位] テキスト履修

読む・書く・聞く・話すを言語活動の4領というが、最近の国語の授業は「話す」を中心とした展開が多くなっている。テキストでまず文章を書く方法を学び、それを生かして文章を書いていく。そのために自他の話す活動や内容を観察し取材することから始める。

10002 英語コミュニケーションI [1 単位] スクーリング履修

コミュニケーションに必要な英語の基礎力の育成を目指し、身近な話題の会話練習、基礎的な文法、語彙知識を学習する。洋楽のディクテーションやグループワークでリフレッシュしながら、英語の楽しさを共有していきたい。リスニング力の向上のために、テキストに付属のCDを繰り返し聞いてスクーリングを受講すること。

10003 英語コミュニケーションII [1 単位] スクーリング履修

基本的な文法・語法を確認しつつ、英語の四技能（読み、書き、聴き、話す）をバランスよく学習する。
英語コミュニケーションIと同様に、「コミュニケーション」とは「聴く、話す」だけではなく「読み、書き」も総合的に含めたものと理解してスクーリングを受講すること。

10004 英語 [2 単位] テキスト履修

現代社会で見られる様々なトピックを扱ったテキストで、基本的な文法や語法、語彙力を強化しつつ、内容理解を深めていく。
テキストに付属のCDを使用することで、学習がよりスムーズに行える。

10005 基礎体育学 [1 単位] スクーリング履修

モノの豊かさや医療の発達、現代人の健康に大きな課題をもたらした。身体は勿論のこと、精神的、社会的健康を学ぶ目的で、スポーツ実践に取り組む。

10006 健康行動学 [2 単位] スクーリング履修

現代社会が抱える多くの健康問題を体系的に認知し、改善していくために、その理論や実践方法を学んでいく必要がある。
自分自身の生活を振り返りながら、今後どのように健康を増進し、発病を予防するか等の基本的な知識を学ぶ。

10007 健康行動学 [2 単位] テキスト履修

現代社会が抱える多くの健康問題を体系的に認知し、改善していくために、その理論や実践方法を学んでいく必要がある。
自分自身の生活を振り返りながら、今後どのように健康を増進し、発病を予防するか等の基本的な知識を学ぶ。

10008 情報基礎 [2 単位] テキスト履修

「情報社会」にあって、情報の活用能力、科学的理解、情報社会に参画する態度について学ぶと同時に、地域社会や家庭でも役立つ文書作成や統計処理などができるようにすると共に情報モラルの基本も習得する。
パソコンやインターネットを用いた情報活用のための基本的な知識、技能を有することを前提とする。

10009 日本国憲法 [2 単位] スクーリング履修

「日本国憲法の基本的な人権保障規定および統治機構関係規定の構造・内容」を解説する。判例を中心に、日本国憲法をめぐる重要な論点についての鳥瞰図を示す。

10010 日本国憲法 [2 単位] テキスト履修

憲法は、主に、人権を保障する部分と統治の機構を定める部分から構成されており、国民の権利を公権力から守るもとも基本的な法であるといわれる。「憲法について考える」うえで必要とされる「基本的な人権保障規定および統治機構関係規定の構造・内容」について学習する。

10011 文学 [4 単位] テキスト履修

近い時代の作品でありながら疎遠な存在となってしまう近世小説の各ジャンルの代表的作品で特に優れている部分や、ジャンルの特徴がよく現れている部分を抜粋したテキストを用いて、江戸時代の小説全般に親しみとともに、時代的、文学史的な知識を得ることも目標とする。

10012 心理学 [4 単位] テキスト履修

心理学は、科学の一領域として人間の性格、記憶という人間の知的能力、知覚や感情、更には人間の成長過程、人間関係の心理についても研究している。特に最近では大人たちに、子どもの心のケアが求められているので、心理学全般についての基本的な知識が得られるように学習する。

10013 哲学 [4 単位] テキスト履修

科学技術の著しい発達に伴い、高度な交通手段・通信手段によってグローバル化が進んだため、脳死やクローンなどの新しい問題から、宗教や差別などの古い問題に至るまで、これまでにないほど複雑な倫理的思考・判断を迫られている。こうした現実的な問題に対して、道徳哲学はどのように答えようかをテキストの熟読により学習する。

10014 経済学 [4 単位] テキスト履修

経済学にはミクロ経済学とマクロ経済学の2つのアプローチがある。ミクロ経済学では、個々の企業や消費者（家計）にとり、市場経済がいかに重要な役割を果たしていくかを明らかにする。一方、マクロ経済学では、全体としての経済の動きを、GDP（国内総生産）、失業率、インフレ率、利子率などの経済変数を用いて解明する。

10015 法学 [4 単位] テキスト履修

法は、多様な人々が共同生活をするための相互尊重のルールであり、我々の生活を豊かにするための制度であるといわれる。このような法の体系を踏まえつつ、現実社会の中で法がどのような役割を果たしているかについての理解を深める。

10016 社会学 [4 単位] テキスト履修

社会保障や福祉を手がかりに、われわれが暮らす日本社会の「いま」、そしてあるべき「未来」について、共に考えていくことを目的とする。

10017 地理学 [4 単位] テキスト履修

地理学は地形・気候などの自然現象から、人口・農業・工業・都市などの人文現象のあらゆる方面にまたがる。農業地理学に焦点を合わせ、主として食用作物の生産条件、普及のあり方、作物をめぐる列強の争い、生産と消費の動向等について考察する。

10018 文化人類学 [4 単位] テキスト履修

文化人類学の課題と方法、理論史を学んだあとで、家族と親族、宗教と

社会、経済と社会、政治と社会、歴史と文化変化などについて、文化人類学、社会人類学の研究成果を用いて具体的に検討する。

10029 環境教育論 [2 単位]

テキスト履修

日本における環境問題は、はじめは地域的な公害として顕在化したが、近年では多様化し深刻化しつつある。その解決のためには、各人が人間と環境とのかかわりについて理解し、行動力を身につけ、持続可能な社会をつくるために必要な環境教育について考究する。

10019 数学 [4 単位]

テキスト履修

数学は基礎科学といわれ、諸科学の基礎には数理的な思想が含まれている。線形代数、微分、積分、確率・統計について学ぶ。

10020 生物学 [4 単位]

テキスト履修

「生物の適応と進化」をテーマとし、生物のさまざまな興味深い姿形や振る舞いが進化した理由について学習する。また、進化生物学的な観点から、人間の行動、社会、文化の適応的意義について考える。

10021 栄養学 [4 単位]

テキスト履修

健康志向が著しい今日において、栄養に関する正しい知識を身につけることは、現代人の備えるべき常識となりつつある。栄養の基本的概念及びその意義を理解するとともに、人体の機能維持と栄養のかかわりについて学ぶ。

10022 多文化社会 [2 単位]

スクーリング履修

多文化社会とは、多種多様な文化が共存し、その文化的多様性を肯定する社会的な公正さが実現される社会をさす。同質性の居心地の良さに対して、異質な者への無知とメディアからの情報に抗する知力・感性、そして異文化間対話に促進する力を身につけることを目標とする。

10023 多文化社会 [2 単位]

テキスト履修

多文化社会とは、多種多様な文化が共存し、その文化的多様性を肯定する社会的な公正さが実現される社会をさす。同質性の居心地の良さに対して、異質な者への無知とメディアからの情報に抗する知力・感性、そして異文化間対話に促進する力を身につけることを目標とする。

10024 情報と社会 [2 単位]

スクーリング履修

コンピュータ及びインターネットの発展に伴い社会生活も大きく変化しつつある。情報社会の基盤となっている基本的な技術や、人と人とのコミュニケーション方法の変化について理解するとともに、現代の情報システムと企業活動や社会基盤における役割、性質について学ぶ。

10025 情報と社会 [2 単位]

テキスト履修

コンピュータ及びインターネットの発展に伴い社会生活も大きく変化しつつある。情報社会の基盤となっている基本的な技術や、人と人とのコミュニケーション方法の変化について理解するとともに、現代の情報システムと企業活動や社会基盤における役割、性質について学ぶ。

10026 国際理解教育論 [2 単位]

スクーリング履修

現在の時代と状況を知り、人類共通の課題を地球的視点から考察しつつ、他者理解や他者とのコミュニケーションのとり方とはどういふものか、未来をつくる共生の態度とスキルを学ぶ。

10027 国際理解教育論 [2 単位]

テキスト履修

現在の時代と状況を知り、人類共通の課題を地球的視点から考察しつつ、他者理解や他者とのコミュニケーションのとり方とはどういふものか、未来をつくる共生の態度とスキルを学ぶ。

10028 環境教育論 [2 単位]

スクーリング履修

日本における環境問題は、はじめは地域的な公害として顕在化したが、近年では多様化し深刻化しつつある。その解決のためには、各人が人間と環境とのかかわりについて理解し、行動力を身につけ、持続可能な社会をつくるために必要な環境教育について考究する。